

教 科 用 図 書 採 択 参 考 資 料 綴 り

教 科 名 _____ 地 図 _____

調査研究報告書

(小委員会名： 地理 (地図))

<p>1. 調査研究の経過及び内容</p>	<p><u>1. 調査観点別に見た、各調査用図書の特徴</u></p> <p>① 取り扱い内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どちらの見本本も学習指導要領の目標が達成できるよう、写真や分布図などを効果的に活用し、人々の生活や文化、資源やエネルギーの流れ、産業等を理解しやすいような学習活動が工夫されており、差異はない。 ・学習活動内容としては、東書は各分野の教科書と連携した資料による調べ学習や考察する学習を取り入れ、帝国は地図を大きくとり大観するところから比較や調べたりする学習を取り入れた内容となっている。 ・主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、東書は歴史と関連付けたり、視点を示したり、吹き出しを用いて、帝国は二次元コードを活用した発展教材や一般図に「地図活用」、資料図に「学習課題」のコーナーを設けて、テーマについての考察と作業学習を取り入れ考えを広げたり深めたりする活動内容となっている。 <p>② 内容の構成・排列、分量について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界と日本の扱い割合に差異はないが、東書は全体に占めるページの取り扱いが多く、帝国は地図が大判で細かな所が見やすいなど各者工夫されている。 ・資料・統計等における割合は、帝国の取り扱いページ数が多く、主体的な学びに向けた工夫が見られる。 ・我が国の領土に関する取扱いに関して差異はないが、東書は個別の表記、帝国は領土としての位置関係がよくまとめられている。また、北海道に関連の深い「北方領土」は、帝国は取扱量が多い。 ・系統的・発展的に学習するための工夫として、東書は特定の地域について詳しく調べることができるような資料などで構成され、帝国は日本の諸地域において、日本全国図により大観する学習の後に、地域ごとに詳細を示した地図や資料により、課題について発展的に学習できるような工夫がなされている。 ・二次元コードを活用した発展教材など、主体的に学ぶ学習を促す内容に大きな差があり、帝国は取扱量が多く、工夫が見られる。 <p>③ 使用上の配慮等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東書は歴史的分野と関連づけて学習がしやすいように歴史関連の資料が組み込まれており、資料さくいんでは、項目ごとにページを示すなど資料を探したり・比較したりする活動への工夫がなされている。 ・帝国は全体に写真や模式図がわかりやすく、地図は従来の AB 版から A4 判の大判になり、細かな地図内の資料が大変見やすく、世界・日本の統計でも生徒の調査学習が行いやすくなるような工夫がなされている。 ・両者とも鳥瞰表現地図を挿入しており、世界地図では東書が 3 箇所、帝国が 6 州に使用して内容も工夫されており、生徒がより学習イメージをつかみやすくなっている。 <p><u>2. 調査研究の経過</u></p> <p>複数回、小委員会における調査研究を行い、各見本本の特徴などを調査研究した。</p>
<p>2. 体的研究の調査資料</p>	<p>① 教科書編集趣意書 ② 採択参考資料 ③ 学習指導要領解説 4 その他 ()</p>
<p>3. 意見等少数</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・統計や資料図等の活用は教科書と連携している方が扱いやすいが、地図帳は見やすさや色使いなどが重要である。

教科用図書採択参考資料

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	2・東書	第1・2・3学年	地図・701	新しい社会 地図
取 扱 内 容	<p>○ 社会科の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「世界全図」において、面積が正しい地図と中心からの距離と方位が正しい地図を比較したり、緯度や経度による位置や時差について調べたり、州別の国名を確認したりする活動 ・「世界州別図」において、大陸部分を中心に球体としてとらえることができる表記を行うことで全世界的に比較・考察したり、アジア州での日本と各地との歴史的な関わりを調べたりする活動 ・「世界主要地域詳細図」において、歴史の学習においても活用できるような東アジア地域の位置や歴史的関係を理解したり、地名などを調べたりする活動 ・「世界の資料図」において、教科書と連携した資料を活用したり、世界の状況を示した主題図や統計グラフなどから、設定された課題について考察したり調べたりする活動 ・「日本全図」において、領土周辺の海底の地形を記載するなど、我が国の領土や領海の範囲や排他的経済水域の境界などを調べたり、読み取ったりする活動 ・「日本地域別詳細図」において、都道府県ごとの農産物や工業製品の生産地を調べたり、歴史的な地名や位置などを調べたりする活動や、北海道地方においては東京都との面積を体感したり、歴史の学習において地名や位置関係を調べたりする活動 ・「日本の資料図」において、教科書と連携した自然災害に関する表記や地形との関連資料を活用した災害と向き合う方策を考えたりする活動や、人口分布と工業地域の関連性などを考察したりする活動 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、テーマ資料という形で学習が進めやすいように写真やグラフ・分布図などが掲載され、世界の現代的な諸課題として「環境・資源・エネルギー問題」「人口・貧困問題」「紛争・難民問題」を設けて、主題図や統計などの資料を活用するなどして、課題について考察を広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。また、資料図にキャラクターの吹き出しを設けるなどの親しみやすい工夫もみられる。</p>			
排 内 列 容 の 分 構 量 成 等	<p>○ 内容の構成・排列については、世界の諸地域において、世界全体に関わる資料をまとめて前半に配置し、一般図では諸地域を大観する学習の後に、考察する主題や生徒の興味・関心に応じて自然環境や農業等に関する資料図を選択できるよう構成されているなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 日本地域別詳細図では特定の地域について詳しく調べることができるなど、関連した資料図を用いて、発展的に学習を進めることができる工夫がなされている。</p>			
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 歴史的な分野と関連づけて学習がしやすいように歴史関連の資料が組み込まれている。</p> <p>○ 地域の特産物などが図や絵で詳しく表記され、北海道地方の資料において自然環境が立体的につかむことができる地図を配置したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 全ての生徒が学習しやすいよう、カラーユニバーサルデザインやフォントを活用したり、巻末に資料さくいんを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
そ の 他	<p>※ 中学校用教科書目録(令和3年度使用文部科学省)による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>			

学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等

教科用図書採択参考資料

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	46・帝国	第1・2・3学年	地図・702	中学校社会科地図
取 扱 内 容	<p>○ 社会科の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「世界全図」において、地図を大きくとり州の名前や国名・首都が見やすく記載され、ヨーロッパ中心の面積が正しい地図や北極点・南極点からの大陸の位置関係を示す地図が記載され、緯度経度に関わり時差が細かく記載されるなど、比較したり、調べたり、確認したりする活動 ・「世界州別図」において、州ごとの主題図から地域の特色を考察したり、同緯度・同縮尺の北海道と比較したり、アジア州では境界を読み取ったり、ヨーロッパと日本の空路での所要時間を比較したりする活動 ・「世界主要地域詳細図」において、都市の大きさや地域を結ぶ交通手段での比較をしたり、東アジアでは地域の国の位置を理解したり、地名などを調べたりする活動 ・「世界の資料図」において、世界の気候帯の分布や雨温図によって、地域ごとの気候や自然環境について考察したり、日本との関わりや人々の生活について調べる活動 ・「日本全図」において、都道府県・県庁所在地名が見やすく記載された大きな地図や写真を効果的に活用し、我が国の東西南北端や北方領土・竹島・尖閣諸島の位置を調べたり、我が国の領土や排他的経済水域の範囲を読み取ったりする活動 ・「日本地域別詳細図」において、都道府県ごとの農産物や工業製品の生産地を調べたり、歴史的な地名や位置などを調べたり、読み取ったりする活動 ・「日本の資料図」において、気候や自然災害の資料によって自然現象の地域的な特色をとらえて防災などについて比較したり、調べたり、考察したりする活動 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、一般図に「地図活用」、資料図に「学習課題」のコーナーを設けて、テーマについて考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。また、巻末の統計資料が豊富な上、一般図に二次元コードを活用した州・地方別のコーナーを設け、動画などとリンクし視覚的・発展的に考えを広げたり深めたりする学習活動も取り上げられている。</p>			
内 容 の 構 成 等	<p>○ 内容の構成・排列については、世界の諸地域において、一般図により諸地域を大観する学習の後に、考察する主題や生徒の興味・関心に応じて環境問題や日本との結び付きを示した資料図を選択できるよう構成するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 日本の諸地域においては、日本全図により大観する学習の後に、地域ごとに詳細を示した地図や資料により、課題について発展的に学習できるような工夫がなされている。</p>			
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 世界の各州に、地形や周りの国々の特徴を大観できる資料が掲載されており、北海道地方の資料において開拓の歴史とアイヌ語地名を多く掲載していたり、日本とロシア・ソ連の国境の変遷が示されるなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 「地図帳の使い方」に地図帳の活用例や学習の指針を示したり、世界・日本の統計では、人口や面積などの数値の上位5位までを赤文字で示すなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 全体に写真や模式図がわかりやすく、大判で地域の特色などが見やすく地域間の結びつきも把握しやすい。また、全ての生徒が学習しやすいよう、カラーユニバーサルデザインやフォントを活用したり、手話による地名を表記するなどの工夫が見られる。</p>			
そ の 他	<p>※ 中学校用教科書目録(令和3年度使用文部科学省)による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>			

学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等